

# チェチェンの現在を語る



A Chechen War Surgeon Speaks Out: Dr. Khassan Baiev's Japan Tour, July 2006

わたしは自己の能力と判断の及ぶかぎり、病者の治療に力を尽くします。  
わたしの治療によっていかなる人を傷つけることも欺くこともいたしません。

—————ヒポクラテスの誓い

**もっとも悲惨な戦争の目撃者** チェチェン戦争が始まって12年。ロシア南部のチェチェン共和国では、1994年から続くロシアの軍事侵攻によって、100万人の人口のうち20%から25%が死亡し、50%が難民としてチェチェン国外に逃れています。私たち「ハッサン・バイエフを呼ぶ会」は、世界でもっとも悲惨な戦争を目の当たりにしながらも、医学の祖ヒポクラテスの誓いを胸に、敵味方の区別なく必死の治療にあたり、今もチェチェンでの医療支援活動と現地調査を続けるチェチェン人のハッサン・バイエフ医師を日本に招き、東京・京都など、全国各地で講演会を行います。



**チェチェンに平和と人権を** 世界の無関心の犠牲ともいふべきチェチェンの戦火を生き延びた一人の外科医。彼によって、チェチェン戦争は、そして平和への可能性は、どのように語られるのでしょうか。チェチェン戦争の真実の目撃者、バイエフ医師の声を日本に届けます。チェチェンに平和と人権を取り戻すために、どうか皆様のご参加をお願いします。

## 【緊急!】募金のお願い／ハッサン・バイエフを呼ぶ会について

ハッサン・バイエフを呼ぶ会は、チェチェン支援者、ジャーナリスト、出版社、格闘技関係者などの有志が集って結成した団体です。この来日は一般の皆様からの寄付によって支えられていますが、まだ資金が不足\*しています。どうか、募金にご協力をお願いします! (\*目標額:130万円、うち現在までの募金:231,350円 7/3現在)

送金先: 郵便振替口座 **口座番号:00180-6-261048** 加入者名:**チェチェン連絡会議**

金額: 一口3,000円 (お手数ですが、通信欄に「バイエフ」とご明記ください)

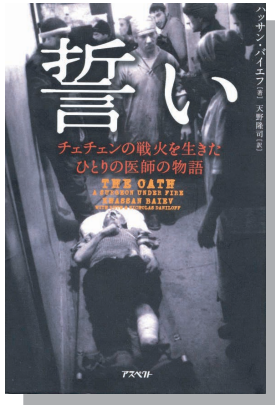
連絡先: ハッサン・バイエフを呼ぶ会 共同代表 林克明／岡田一男 〒112-0001 東京都文京区白山2-31-2-101 岡田一男気付 電話:03-4500-8535 Fax:03-3811-4576 Mail:baiev@zau.att.ne.jp  
<http://tokyocinema.net/baiev.htm> 共催:チェチェン連絡会議



photo: Tohoku Judo Club

**ハッサン・バイエフ Khassan Baiev(外科医、柔道家)** 1963年、チェチェンの首都グロズヌイの郊外、アルハン・カラ生まれ。1977年、ソ連邦ジュニア柔道大会で優勝し、以後多くの柔道大会にて金メダルを獲得。1985年、クラスノヤルスク医科大学卒業。1988年チェチェンに帰国し、首都グロズヌイにて形成外科医として医務につく。1994年、ロシア-チェチェン戦争の勃発とともに、野戦外科医として活躍。敵味方を区別しない医療活動のために、ロシア連邦軍とチェチェン過激派双方から命を狙われる。2000年米国へ亡命、同年11月米国NGO・ヒューマンライツ・ウォッチから「2000年人権監視者」の榮譽を受けた。

柔道の創始者である故・嘉納治五郎氏を心から尊敬するバイエフ医師は、来日のさいに講道館道場での暑中稽古も予定しており、日本訪問を心待ちにしている。

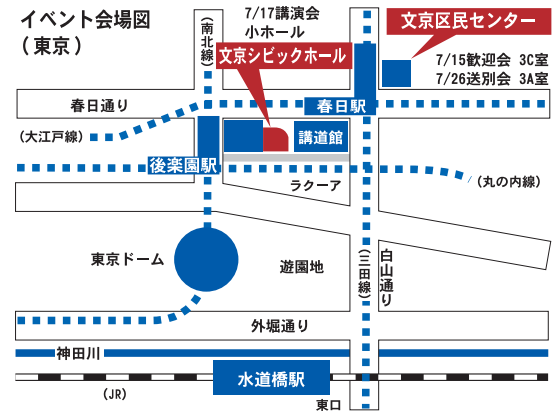


**関連書籍 「誓い」** チェチェンの戦火を生きたひとりの医師の物語  
ハッサン・バイエフ著 天野隆司訳 アスペクト刊 2004年 2,940円

**勇気ある真の人間 (書評)** バイエフはロシア人、チェチェン人の区別なく、時には彼自身を危機に陥れようとする人物までも執刀した。たとえ相手が何者であれ、患者の命を救うためにぎりぎりまで努力した。しかし、彼は「医師」である前に、「勇気ある真の人間」であると言いたい。…バイエフは、患者や家族のために、自分の命をたびたび危機にさらしている。そんな彼を神は見捨てない。危機一髪で何度も命拾いをする。あたかもバイエフの覚悟ある行動を見届けた神が、ぎりぎりのところで、運命の駒をよい方向へちょっとずらしてくれているようだ。

——林京子/チェチェンニュース2004. 6. 4

**チェチェン戦争とは?** ロシア南部に位置するチェチェンは、19世紀にロシアが併合した地域で、先住民のチェチェン人が人口のほとんどを占めている。1991年のソ連邦崩壊の際、チェチェンは独立を宣言したが、94年、ロシア政府は武力侵攻を開始した。その後3年間の休戦をはさんで、泥沼の戦争が続いている。この戦争によって、人口100万人のうち、すでに20万人の民間人が犠牲になったと言われている。



## 講演・イベントスケジュール

- 7/15(土) 東京①[バイエフ医師来日歓迎パーティー]** 11:30-14:00 文京区民センター30会議室 参加費:500円 (軽食あり・飲食物の差し入れ歓迎) 交通:地下鉄丸ノ内線・南北線「後楽園」駅徒歩5分/地下鉄三田線「春日」駅A2出口真上・大江戸線「春日」徒歩1分 主催:バイエフを呼ぶ会 共催:チェチェン連絡会議 連絡先:03-4500-8535/baiev@zau.att.ne.jp(岡田)
- 7/17(月) 東京②[ハッサン・バイエフ講演会 -チェチェンの戦火を生きた外科医-]** 19:00-21:20 文京シビックホール・小ホール 参加費:1,000円 交通:地下鉄丸ノ内線・南北線「後楽園」駅徒歩1分/地下鉄三田線・大江戸線「春日」駅徒歩1分 主催:バイエフを呼ぶ会 共催:チェチェン連絡会議 連絡先:03-4500-8535/baiev@zau.att.ne.jp(岡田)
- 7/18(火) 京都①[チェチェン人のイスラーム信仰とロシア/チェチェン戦争下での私の宗教体験]** 13:00-15:10 同志社大学今出川キャンパス神学館チャペル 参加費:無料 交通:地下鉄「今出川」駅徒歩1分/京阪「出町柳」駅徒歩15分 主催:同志社大学一神教学際研究センター・神学部
- 7/18(火) 京都②[チェチェン問題講演会 チェチェン人医師ハッサン・バイエフ氏と日本山妙法寺・寺沢潤世師講演会 圧倒的暴力の下での非暴力の戦いの可能性]** 18:00-20:00(開場17:30) 同志社大学今出川キャンパス至誠館32号教室 参加費:無料 交通:同上 主催:同志社大学イスラーム研究会・同志社大学学生有志 連絡先:070-6687-0825/fuoco@di.pdx.ne.jp(加藤)または 090-9869-8497/dsf0202@mail2.doshisha.ac.jp(岩間)(7/11~18 学内・明德館ラウンジにて[チェチェン事情展示会])
- 7/20(木) 弘前[戦火を生きた外科医の報告 チェチェンの医療危機と子ども達]** 時刻:18:30-21:00 弘前大学本町キャンパス臨床棟臨床大講堂 主催:弘前大学国際医療研究会・イムラン基金・バイエフを呼ぶ会 参加費:無料 連絡先:03-4500-8535/baiev@zau.att.ne.jp(岡田)
- 7/22(土) 横浜[チェチェンの戦火を生きたひとりの医師の物語 ハッサン・バイエフ博士来日記念講演会]** 13:30-15:30(開場13:00) あーすぷらざ5F映像ホール 参加費:無料 交通:JR根岸線「本郷台」駅改札出て左手すぐ 主催:神奈川県国際交流協会 連絡先:090-6101-6113(日本ビジュアル・ジャーナリスト協会)(写真展[世界の戦場から]関連企画)
- 7/23(日) 広島[チェチェンの戦火を生きた医師の声を聴く]** 18:00-20:30 広島市まちづくり市民交流プラザ北棟5階研修室A 参加費:1,000円(カンパとして) 交通:市電/広電・広島バス「袋町」徒歩3分 主催:アムネスティひろしま 連絡先:090-3177-7336(野間)
- 7/25(火) 長崎[チェチェンから長崎へ-戦火を生きた外科医の報告-]** 18:30-20:30 長崎県教育文化会館2F大会議室 参加費:1,000円(学生500円) 主催:ワールドピースナウ・ナガサキ 連絡先:095-822-4098
- 7/26(水) 東京③[バイエフ医師報告会&送別会 -日本縦断講演を終えて-]** 19:00-21:00 文京区民センター会議室3A 参加費:1,500円(軽食あり・飲食物の差し入れ歓迎) 交通:地下鉄丸ノ内線・南北線「後楽園」駅徒歩5分/地下鉄三田線「春日」駅A2出口真上・大江戸線「春日」徒歩1分 主催:バイエフを呼ぶ会 共催:チェチェン連絡会議 連絡先:03-4500-8535/baiev@zau.att.ne.jp(岡田)

※7/5現在の情報です。時刻・参加費などが変更される場合があります。最新チラシをダウンロードするか、主催者にお尋ねください。

このチラシの最新版は、次のURLからダウンロードできます: <http://chechennews.org/event/baievdl.htm>